



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251

教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

家族の絆について考える ～北朝鮮による拉致問題を通して～

校長 白石 徳一郎

▶創立50周年記念バルーンリリース

6月5日(水)には、創立50周年記念の航空写真とバルーンリリースが盛大に行われました。子どもたちの夢を乗せて、色とりどりの風船が空高く上がっていった光景は、皆さんの思い出に残ることでしょう。準備や当日の運営に携わっていただきましたPTA役員の皆様・ボランティアの保護者の皆様、当日、御参観いただきました保護者の皆様、ありがとうございます。



▶北朝鮮による拉致問題を通して、家族の絆を考える授業

さて、6月はいじめ撲滅強化月間・人権教育重点月間として、各学年、道徳の授業等を通して様々な人権教育に取り組みました。6年生には、私が「横田めぐみさんのご両親の思いを通して、家族の絆について考える特別授業」を行いました。授業では、めぐみさんのお父様がご健在だった時に残されたご両親からのメッセージを視聴しました。

<ご両親からのメッセージ> (抜粋)

家の中で家族と一緒に生活するという事は当たり前のことなんですけど、本当はすごく幸せなことなんです。家族が仲良く暮らすということを、気をつけていただければ一番幸せだと思います。

だまって見守ってくれて、本気で思ってくださいるのはお父さん、お母さんだけ。この子のためと思っていらっしゃることをわかって過ごされるといいと思います。



<6年生の感想から> (一部抜粋)

- ・家族と過ごせるというのは幸せな事だという事を心にとめて、これからも過ごしていきたいと思いました。また、横田めぐみさんや他の拉致された方たち800人以上が無事にご家族のもとに戻ってくることを願って、私にできることを進んでしていこうと思いました。そして、一番大切な家族をこれからも大切にしたいと思いました。
- ・私の大切な人が、もし拉致されてしまったと考えると、とても悲しくて、つらくなります。これからは横田さんが、めぐみさんと会えるように、自分がこうけんできることがあれば、進んで協力したいと思います。毎日を大切に生きていきたいです。そして、拉致された人たちの思いを忘れないようにしていきたいです。
- ・家族はこんなにも大切なものだと思い直したし、家族というのは自分たちの事を思ってくれているのが感動しました。自分はとても幸せだなと思いました。

▶家族の時間を大切に

私は小学1年生の時に6年生だっためぐみお姉さんに弟さんたちと一緒に学校に連れてってもらってました。優しいお姉さんでした。北朝鮮当局による拉致とわかってから20年以上が経過しました。「昔のこと」と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、このような重大な人権問題が今も続いていることを知ってもらい、「もし、自分だったら」と考えられる子、人の気持ちを感じることが出来る子に育ててもらえたらと思います。

「家族と一緒に生活することは当たり前のことなんですけど、本当はすごく幸せなこと」です。夏休みはぜひ、ご家族の時間を大切に過ごしていただけたらと思います。